

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五～六（公衆）〇四七二二二七二〇七



「ストライキの未来をかけたたたかいがある」

中野委員長著書『俺たちは鉄路に生きる』を読んだ感想が全国から教宣部宛てに多く送られてきている。そのうちのいくつかを紹介します。（『日刊』編集局）

どんなに苦しくても
しつかりと原点を守って

皆さん、たいへんな状況の中、どんなに苦しくても、しつかりと原点を守りがんばって下さい。

とにかく、子供に向かってはつきりと胸をはって申しひらきができ「人の道に反した行ないを絶対にしてこなかった」と言える生き方が結局は人間の真の生き方でしょう。国鉄の心ある管理者の多くは、怒り、悲しみ、情ない思いをもちつつ、やめて（退職）行くのです。国鉄に職を得て一心に務めてきた自からの道のりをけがしたくないからです。（アホなことですな）（※ママ）

私も、あと、少しの時間しか現職としての立場はない。しかし、何んとかして「国鉄」の本当の良さを死なせてはならないとの気持ちは、管理者の殆んどの人にもついているという事は言えるのです。大きく生きてください。大きく進めて下さい。悔いなどというものは笑って生きて行けることがいばんよいのです。そう思っています。（「函館」一読者より）

「俺らは鉄路に生きた」
拜読しました。感動しました。
国分は二期に及んで何を以て
いるのでせう。
千葉勤労とぴつちり手を組んで
立ち上ってほしいと念じています。
勇気ある千葉勤労に心から
声援を送ります。
八千代市 勝田台 一市民

ストは労働者の唯一の武器

『俺たちは鉄路に生きる』を読みました。今迄も、なぜ組合は最近ストをやらないのか？ 人事院勧告を政府が無視し国連から勧告さえうけているのに……という強い疑問がありました。しかし、マスコミが伝える「職場規律の乱れ」、業務移管、「人活センター」、希望退職etcについては「あーそう、やむを得ないんじゃないの」と軽く考えていました。

しかし、この本で、国鉄分割・民営化が、ストライキを恐れずに闘う労組つぶしに他ならないという真実に気がつきました。僕は、自分自身階級闘争を信じないブルジョア民主主義者であると思っっています。しかし、ストライキのない社会なんて異常です。ファシズムです。ストは労働者の唯一の武器です。その正当な武器を使用した勤労千葉に対して七五年のスト権ストの百倍以上（ストの規模、組合員数、解雇者の数で計算してみました）もの超不当な処分が当局によってなされた事をはじめ知って、飛び上がる程、ビックリしました。勤労千葉が国民にストライキ基金を求めているのも、もつともなことです。

勤労、真国労の利己主義的なやり方にも腹が立つ。革マルというのが、なぜ、あんなことをするのだろうか。不可解だ。新左翼系の人々の間では「反革マル」が常識になっているけど、不勉強の僕には今一歩理解できない。それから、日共の労働者が処分を恐れて当局にやられてしまうというのも意外だった。日共は既成野党の中で一番政府に妥協を許してないので、投票するなら日共と決めていたの……。

政府の国労つぶしの次は日教組つぶしといわれています。暗黒国家への道を阻止するか否かの決戦の時です。

国鉄千葉動力車労働組合

僕は毎日、バイトをして、信州大の〇学部に通っています。これからは物販運動やカンパに積極的に協力したいと思っています。第三波ストの勝利を心から祈っています。がんばれ勤労千葉！
（長野県一学生より）

階級の未来をかけたたたかいがある

鎌倉孝夫
埼玉による国鉄の分割、権者という一大ベテラン！それを進行するために労働者を差別、差別し、人権をうばい、組織を破壊するさまじい攻撃がかけられている。労働者はこの攻撃の前に屈服したかに見える。しかし、労働者は決してひるんではない。これに組織をあげて、敢然と対峙する部隊がいる。ここに鉄路以外に失うべき何ものもない真の労働者の姿がある。生命をかけ、階級の未来をかけたたたかいがある。



定価★1400円/送料200円 四六判・224頁/写真多数
●全国の書店で好評発売中

社会評論社
東京都文京区本郷2-5-10
☎03(814)3861
郵便振替 東京7-89969

10万人首切り、財界の国鉄構奪を許すな！

ストライキの最前線にたつ 勤労千葉委員長の熱烈なアピール

- 主要目次
- 第1章 国民をあざむく大陰謀だ
- 第2章 三人に一人の首がとが
- 第3章 小さな組合が大決断する
- 第4章 ついに24時間ストライキへ
- 第5章 パンチが効いたか
- 第6章 ハラをすえなきやケンカはできない
- 第7章 「勤労千葉はスッポンだ」
- 第8章 死を待つより
- 第9章 松崎明の正体みたり
- 第10章 敵も胸つき八丁だ

勤労千葉 俺たちは鉄路に生きる

中野洋